

株式会社エクストランス

X-MON3.8.0

アップデート内容

目次

目次	1
アップデート内容	2
監視プラグインの追加	2
WMI 監視プラグイン改修	2
新規ホスト・サービス登録のコマンド対応	3
ホスト設定へ SNMP ポート番号項目の追加	3
監視エージェント状況確認機能の追加	4
エスカレーション設定の CSV 一括登録機能の追加	5
X-MON サーバファイル参照機能に messages ファイルの追加	5
Twilio 通知設定の改修	5
不具合の修正	6
監視設定	6
SNMPTRAP 関連	6
グラフ関連	7

アップデート内容

X-MON3.8.0 では以下の内容が追加されました。

監視プラグインの追加

以下の Windows 監視プラグインが Windows リソース監視に追加されました。

- WMI による Windows ディスク使用率監視
- WMI による Windows メモリ使用率監視
- WMI による Windows ディスク読込量監視
- WMI による Windows ディスク書込量監視
- WMI による Windows 受信 TRAFFIC 監視
- WMI による Windows 送信 TRAFFIC 監視
- WMI による Windows プロセス数監視
- NSClient++ログ監視（除外指定あり）

これにより SNMP でのみ対応していた使用率を用いた監視とトラフィック監視、プロセス数監視が WMI でも利用出来るようになりました。

また Windows の任意ログファイルを指定して、ファイル内の文字列に対しての監視が行えるようになりました。

以下の監視プラグインがログ監視に追加されました。

- NRPE 経由でのログ監視（除外指定あり）

除外文字列の指定が可能となりました。

詳細なプラグインの設定につきましては、X-MON のオンラインヘルプをご確認ください。

WMI 監視プラグイン改修

タイムアウト秒数が追加されました。秒数を超えた場合監視ステータスを CRITICAL にします。

アップデート直後、既存のサービスでは「60」秒が設定されています。

サービス監視用コマンド	
Windowsリソース監視	
WMIによるWindowsCPU使用率監視	
接続アカウント名	x-mon
接続パスワード	●●●●●●●●●● 表示/非表示切り替え
コア番号 (0から)	0
WARNINGしきい値(%)	80
CRITICALしきい値(%)	90
タイムアウト(秒)	15
監視テスト実行	

新規ホスト・サービス登録のコマンド対応

監視対象となる Linux や Windows サーバよりコマンドを実行することで、X-MON サーバにホスト・サービスの登録が出来るようになりました。

また、監視に必要な SNMP・NRPE(NSClient++)・WMI などのエージェントも自動でセットアップが可能です。

セットアップが可能な環境は以下の通りです。

- Linux
RHEL(Centos) 6 / 7
- Windows
2008 / 2008R2 / 2012 / 2012R2 / 2016

※Linux/Windows 共に 32bit 版には対応していません。

詳しい登録方法は「X-MON ホスト登録コマンドマニュアル」をご確認ください。

ホスト設定へ SNMP ポート番号項目の追加

ホスト設定の SNMP 認証設定に SNMP ポート番号項目が追加されました。

アップデート直後、既存のホストではポート「161」が設定されています。

▼ SNMP認証設定

※SNMP認証設定を変更するとこのホストに設定されているサービスのSNMP認証設定項目も更新されます。
更新される項目は設定変更前と同じ値が入っている項目になります。
(SNMPバージョンをversion1,2cから3又はその逆に変更した場合はサービスのSNMP認証設定は更新されません。)

SNMPバージョン
Version 2c

SNMPポート番号
161

コミュニティ名/認証ユーザ
public

ホストに設定することで、エージェントの通信状況確認や、SNMP のサービス新規登録時に反映されます。

監視エージェント状況確認機能の追加

被監視対象サーバから X-MON 間の、監視エージェント(SNMP/NRPE[NSClient++]/WMI)の疎通状況を確認することが出来るようになりました。

ホスト管理の各ホストに「監視エージェント状況」という項目が追加され、監視エージェントの通信状況を確認することができます。



ホスト一覧

ホスト・サービス管理 | ホストグループ管理 | サービスグループ管理 | アイコン管理 | 構成管理 | ドキュメント管理

検索

新規作成 | かんたん監視登録 | ネットワークからホストを検出する | 削除 | 削除と承認

ID	名称	IPアドレス/FQDN	エスカレーション		監視エージェント状況		
			有効	無効	NRPE	SNMP	WMI
<input type="checkbox"/> AWS_EC2	 AWS_EC2		0	0	-	-	-
詳細表示 サービス設定 ホストエスカレーション設定							
<input type="checkbox"/> Linux_Server	 SNMP v2c nrpe		0	0	NG	OK	-
詳細表示 サービス設定 ホストエスカレーション設定							
<input type="checkbox"/> Windows_2016	 LDAPサーバ		0	0	OK	OK	OK
詳細表示 サービス設定 ホストエスカレーション設定							
<input type="checkbox"/> X-MON	 X-MON		3	0	OK	OK	-
詳細表示 サービス設定 ホストエスカレーション設定							

また「監視エージェント状況」をクリックすることでエラーメッセージや確認項目を案内します。

監視エージェントを使用したサービスを登録する前に状況確認や、監視エージェントの設定を見直す際にご使用いただけます。

※この機能は以下の動作を行った際に自動で動作します。

- 3.8.0 へのアップデート
- X-MON バックアップのリストア
- ホストの新規追加・編集(アドレスの変更やエージェントの認証設定)
- 監視エージェントを使用したサービスの新規追加・編集(サービス監視用コマンド)

監視サービスと違い、1度状況を確認した後は、設定が変更されない限り再取得は行いません。

最新の状態を確認する場合は、管理画面より手動でチェックを行う必要があります。

エスカレーション設定の CSV 一括登録機能の追加

ホスト・サービスの通知エスカレーション設定を CSV で一括登録・編集が可能となりました。

新しく追加した複数ホストへの一括適用や、既存のエスカレーション設定を出力し、設定を一括で変更することが出来ます。

設定項目の詳細は X-MON のオンラインヘルプをご確認ください。

The screenshot shows a web interface for confirming CSV file registration. At the top, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '登録と承認' (Register and Approve). Below, a message states: '以下の設定で登録します。記載されていない設定は残りません。' (Register with the following settings. Settings not listed will remain). A tree view shows 'NRPE' expanded and 'X-MON' selected. Under 'X-MON', the 'Escalation Interval (min): 5' is shown. A table lists the escalation steps:

実行タイミング	対象ステータス	実行内容	ホストエスカレーション設定の有効化
1 回目から 1 回実行	DOWN/UNREACHABLE/復旧時	メール通知 ユーザ operator	有効
2 回目から 2 回実行	DOWN/復旧時	エスカレーションコマンド実行 httpd再起動	有効
4 回目から 1 回実行	DOWN/復旧時	エスカレーションコマンド実行 Linuxサーバ再起動	有効

エスカレーション設定の変更を行う際は、既存のエスカレーション設定のダウンロードを行い編集を行ってください。設定変更の際に指定されたホストやサービスのエスカレーション設定を全て削除し、CSV に記載された設定で登録し直すため、記載されていないエスカレーション設定は残りません。

X-MON サーバファイル参照機能に messages ファイルの追加

X-MON サーバのファイルを管理画面からダウンロードできる機能に「/var/log/messages」ファイルが新たに追加されました。

このファイルは管理者権限のみで閲覧・ダウンロードが可能です。

The screenshot shows the file management interface. Under 'ファイル選択' (File Selection), there are buttons for 'X-MONログ', 'TRAPログ', 'ステータスファイル', and 'システムファイル'. The 'システムファイル' button is highlighted with a red box. Below, under 'ファイル一覧' (File List), a table shows the 'messages' file:

ファイル名称	最終更新日時	ファイルサイズ	操作
messages	2019年01月18日 02時45分56秒	231.94 KB	表示 <input type="button" value="ダウンロード"/>

Twilio 通知設定の改修

Twilio 通知設定の通知設定名称が重複不可となりました。

既に同じ名称で登録された通知設定が存在する場合、一意な ID を末尾に表示しています。

不具合の修正

以下の不具合を修正しております。

監視設定

- VMware 仮想スイッチ監視において、監視対象 vSwitch に紐づくホストが一台の場合に、監視が正常に取得できない。
→正常に監視結果が取得できるように修正いたしました。
- NRPE 任意監視において、内部で使用する nrpe プラグインに「-t」オプションが存在しない場合に、引数（オプション）を空値で登録すると監視結果が正常に取得できない。
→引数（オプション）が空値の場合でも、監視結果が正常に取得できるように修正いたしました。
- WMI を使用したサービス設定の監視テスト実行において、パスワードにセミコロンが含まれる場合にテスト結果が正常に取得できない。
→テスト結果が実際の監視と同様に取得できるように修正いたしました。
- SNMP 一括登録において、ホストに SNMP 認証設定が正常に登録されていても、ロードアベレージ監視の値のみ取得できず、サービス登録が出来ない。
→値の取得及びサービスの登録が正常に行えるように修正いたしました。
- ホストに登録されているサービスの一括認知済みにおいて、SOFT 状態の CRITICAL ステータスのみ認知済み対象とならない。
→認知済みとなるように修正いたしました。
- ユーザ設定の email アドレスに 6 文字以上のトップレベルドメインが使用できない。
→最大 20 文字までのトップレベルドメインが使用できるように修正いたしました。

SNMPTRAP 関連

- TRAP メッセージにダブルクオート記号が含まれる場合に、監視ステータスが正常に切り替わらない場合がある。
→正常に監視ステータスが変更されるように修正いたしました。
- MIB 登録より TRAP 条件を設定した TRAP の Data Binding が編集画面で表示されない。
→MIB 登録より設定した場合でも Data Binding が登録されるように修正いたしました。
お手数ですがすでに登録されている場合、「再度 MIB 登録より該当の MIB をアップロードの上 TRAP 条件設定を登録する」または、「各 MIB より+ボタンを使用して TRAP 条件の登録」をお願いいたします。
- 不明 TRAP を 1 つのホストに別サービスとして複数登録した場合に、TRAP 条件の編集画面で 1 つしか表示されない。
→正しく表示されるように修正いたしました。

- TRAP 通知履歴において、TRAP メッセージにダブルクオート記号が含まれる場合に CSV ダウンロードを行うと出力結果のフォーマットが崩れる。
→出力結果が正常となるように修正いたしました。

グラフ関連

- SNMPv3TRAFFIC 監視(認証暗号化)のグラフが Bit ではなく Byte で表示されている。
→Bit で表示されるように修正いたしました。アップデート前と比べグラフの値が大きく表示されるようになります。あらかじめご了承ください。
- その他グラフ Y 軸の単位の見直しを行いました。
→アップデート前では Y 軸が KB や GB で表示されていたものを一律 Byte 表記とし、グラフのツールチップや平均最大最小を表示する表と合わせまして、監視結果と差異の無いように修正いたしました。

その他軽微な不具合修正を多数含みます。